

新市建設計画  
合併戦略プロジェクト一覧表

合併戦略プロジェクト

No.	事業名	事業の概要 (新市建設計画掲載)	平成22年度までの実施内容	現在の状況・今後の予定	18～21年度	22年度 (決算額)	23年度 (予算額)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	26・27年度 (計画)	主管課 関係課
					下段は各年度の概算所要額(単位:千円)						
1	小中学校・地域インターネット整備事業	新市の小中学校及び公共施設のイントラネットを構築し、情報通信機器を使った学習情報の交換や公共施設の予約利用等を実施する。	平成18年度に、光ケーブル敷設工事、構内LAN敷設工事、既存回線広帯域化工事、施設予約システムの統合を完了しました。 平成22年度に新公共施設予約システムの構築を完了し、平成23年4月1日から稼働しました。	工程表どおり完了しました。	●→ (H18) ・光ケーブル敷設工事 ・構内LAN敷設工事 ・既存回線広帯域化工事 ・施設予約システムの統合	●→ ・新公共施設予約システムの構築 ・23.4月より本稼働。	完了				生涯学習課 情報政策課
					13,289	9,667	0	0	0	0	
2	学校給食センター整備事業	学校給食センターを整備することにより、新市の学校給食を段階的にセンター方式に統合するとともに、全中学校に拡大する。	平成22年4月に完成して8月から本稼働し、小学校20校、中学校14校に学校給食を拡大しました。	工程表どおり完了しました。 なお、自校式の4校についても、今後段階的にセンター方式への統合を推進していきます。	●→ (H18) ・基本構想策定 設計候補者審査委員会設置、検討 (H19) ・基本設計、実施設計 (H20～H22) ・建築工事	●→ ・完成(4月) ・本稼働(8月)	完了				保健体育課
					1,620,730	778,608	0	0	0	0	
3	津軽歴史文化財保存整備事業	弘前城跡、堀越城跡などの史跡保存整備を進めるほか、津波の発祥と津軽文化の伝承に関わる歴史・文化資料の収集及びその展示・学習施設として津軽歴史文化資料館を整備する。	展示施設に関しては、基礎調査業務を実施し、平成23年5月に完了予定です。  石垣に関しては、地質調査等を実施したが測量業務と石垣カルテ作成業務は、平成23年度に完了予定です。  堀越城は、発掘調査や土地買上げ等を実施し、基本設計業務を平成23年度10月に完了予定です。  事業全体について、工程表どおり実施済みです。	展示施設については、基本設計業務を実施するとともに、用地交渉を進めております。  石垣に関しては、工程表通りに調査・基本計画策定を継続します。  堀越城跡に関しては、基本設計完了後、本丸から順次実施設計を行い、便益施設を含めて整備工事を行うとともに、史跡指定地等の買上げを進めていきます。	●→ ・基礎調査  ●→ ・調査、基本計画策定等  ●→ ・調査等	●→ ・基本設計  ●→ ・津軽氏城跡堀越城跡保存修理事業	●→ ・実施設計 ・津軽歴史文化資料展示施設建設工事  ●→ ・用地取得 ・弘前城本丸石垣整備工事				文化財保護課 企画課 公園緑地課
					57,730	74,564	53,721	411,752	1,034,011	622,043	
4	アップルロード整備事業	国道7号から新市のりんご生産地帯を西回りし、岩木山に至る路線を観光ルートと位置づけ、路盤改良、歩道、休憩・眺望施設を整備する。	県営事業として採択された兼平・三本柳間L=5.6Kmのうち、延長L=3.32Kmの路面改良等の事業費の一部を負担しました。 また、上岩木橋・小栗山間L=9.6Kmの県営事業としての採択に向け、調査計画を実施しています。 工程表どおり実施済みです。	今後は、兼平・三本柳間の路面改良等の事業費の一部を負担するとともに、上岩木橋・小栗山間L=9.6Kmの県営事業としての採択に向け、資料作成を実施し、旧建設省工区の路面、歩道及び橋梁補修を順次進めます。	●→ ・道路、橋梁設計 ・農道整備計画資料作成等  ●→ ・県営事業負担金(農道保全・基幹農道)  ●→ ・工事(歩道・オーバーレイ・橋梁補修)旧建設省工区						土木課
					210,988	33,161	52,807	85,880	87,964	212,980	

No.	事業名	事業の概要 (新市建設計画掲載)	平成22年度までの実施内容	現在の状況・今後の予定	18~21年度	22年度 (決算額)	23年度 (予算額)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	26・27年度 (計画)	主管課 関係課
					下段は各年度の概算所要額(単位:千円)						
5	広域環状道路整備事業	3地域及び周辺市町村をネットワークする広域環状道路として独狐地内から高屋地内を経由しアップロードに接続するルートを整備する。	蒔苗・高屋地内の用地買収は全て完了した。 また、遺跡調査を行っている地区を除いた区間の道路改良L=419mと、後長根川に架設される橋梁下部工を実施した。 工程表どおり実施済みです。	後長根川に架設される橋梁上部工と、遺跡調査の進捗状況を考慮しながら、道路改良及び舗装工事を順次進めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>路線、用地測量</li> <li>道路、橋梁設計</li> <li>用地補償</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>用地補償</li> <li>橋梁(H22:下部工、H23:上部工)</li> <li>舗装工事(H23~H25)</li> <li>遺跡発掘調査(H24~H25)</li> </ul>					土木課
					225,990	150,000	200,000	170,000	118,420	0	
6	新しいまちづくり人材育成事業	これからのまちづくりを市民と行政との協働と捉え、新市の将来を担う人材育成事業を進める。	合併特例債を活用して積み立てたまちづくり振興基金(30億5000万円)の運用益を活用した事業として、22年度は「市民との協働による地域づくり支援補助金事業」5件を実施しました。 なお、基金の充当は無かったので、一般会計の決算額は0円となります。 工程表どおり実施済みです。	本年度から、基金活用事業として「市民参加型まちづくり1%システム事業」に充当し、同事業において様々なまちづくり人材育成事業を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>H19充当事業 390千円</li> <li>H20充当事業 1,866千円</li> <li>H21充当事業 3,229千円</li> </ul>	事業実施	市民参加型まちづくり1%システム事業を活用して実施(H23~)				企画課 市民生活課
					5,485	0	10,000	14,084	14,084	28,168	
7	小中学校施設整備推進事業	他地域より遅れている弘前地域の小中学校の施設や設備を計画的に整備する。(弘前地域)	これまでに、堀越小学校校舎改築事業を20年度に完了。西小学校屋外運動場整備事業を20年度に完了しています。 平成22年度は、第四中学校校舎改築工事(Ⅱ期工事)を工程表どおり実施済みです。	23年度は、第四中学校校舎改築工事(Ⅲ期工事)を実施しており、8月中に校舎は完成しました。今後は旧校舎の解体工事、及び屋外環境整備工事を予定しています。 また、中学校屋体暖房の整備を実施しており、すべての学校への設置を完了しました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>堀越小学校校舎増改築工事</li> <li>西小学校屋外運動場改修工事</li> </ul>						学務課
					563,556	643,089	441,616	165,568	0	0	
8	(仮称)相馬地区住民ふれあいセンター整備事業 (新市建設計画:住民ふれあいセンター整備事業)	旧相馬村役場を庁舎機能、地域住民の交流機能など、地域の特色を生かした複合施設として整備する。(相馬地域)	平成22年度は地質調査、温泉掘削工事、基本・実施設計、造成工事測量設計、利雪創造センター改修工事を実施しました。 工程表どおり実施済みです。	平成23年度は、老人福祉センター及び旧議会議事堂等の解体工事及び造成工事に着手、平成24年1月には本体の整備に着手し、平成25年5月の開設を目指しています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>地質調査</li> <li>基本、実施設計等</li> </ul>		(仮称)相馬地区住民ふれあいセンター整備事業				相馬総合支所総務課
					3,360	80,651	375,702	547,365	209,790	0	

No.	事業名	事業の概要 (新市建設計画掲載)	平成22年度までの実施内容	現在の状況・今後の予定	18～21年度	22年度 (決算額)	23年度 (予算額)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	26・27年度 (計画)	主管課 関係課	
					下段は各年度の概算所要額(単位:千円)							
9	下水道施設整備推進事業	岩木地域の下水道普及率が他地域より低いことから、公共下水道、農業集落排水事業の進捗率を計画的に高めながら施設を整備する。(岩木地域)	下水道が未整備である百沢、常盤野地区と弥生地区(上弥生・杉山町会(岩木地域)と弥生町会(弘前地域))に対し、下水道説明会を開催し、アンケート調査を実施しています。事業の手法が定まらないことから工程表より遅れています。	今まで実施したアンケート調査を基に、地元の意向等を検討した結果、百沢、常盤野地区は特定環境保全公共下水道事業、弥生地区は農業集落排水事業で整備を目指すこととし、龍ノ口地区は、河川区域内の道路と隣接し、管の埋設ができないことから今までどおり合併浄化槽整備事業による整備を目指します。							上下水道部工務課 環境保全課	
					392,000	2,027	2,205	2,205	12,205	386,410		
10	サインナビゲーション整備事業	新市の公共施設及び観光資源への案内誘導のため、幹線道路、広域農道に統一したデザインの道路標識及び施設誘導サインを整備する。	これまで、オーバーハング式サインを10基設置しています。22年度には、岩木地区(高岡・百沢)にオーバーハング式サインを2基新設し、事業を完了しました。	工程表どおり完了しました。		<ul style="list-style-type: none"> <li>オーバーハング式サイン設置 H18 5基</li> <li>H19 3基</li> <li>H20 2基</li> </ul>						企画課 土木課 観光物産課
					28,700	5,250	0	0	0	0		
11	防災行政無線統合整備事業	新市における災害時の迅速かつ確実な通信連絡手段として、3地域デジタル方式による一元化した防災行政無線を整備する。	22年度から事業を実施しております。本年度は、旧市町村において整備された無線の課題等を検討し、周波数統合の及びフルデジタル化を今後進めていくための整備方針を策定しました。工程表どおり実施済みです。	23年度に基本設計、24年度に実施設計を行う予定です。25年度以降に、移動系・同報系無線のフルデジタル化等の施設整備を行い、防災体制の強化を図ります。		<ul style="list-style-type: none"> <li>防災行政無線整備方針検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル化基本設計</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル化実施設計</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>移動系デジタル化工事</li> </ul>		企画課 岩木総合支所総務課 相馬総合支所総務課	
					0	0	9,453	32,033	250,000	500,000		